

大田区自立支援協議会 防災部会議事録

文責：岡戸委員（区事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 防災部会（第6回）		
(2) 開催日時	平成28年10月19日（水）10:00～12:00		
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 5階多目的室		
(4) 出席した委員、事務局	委員（部会長：栗田 修平）		＜敬称略＞
	志村 陽子	竹内 奈津子	竹内 千代江
	石塚 由江	市川 脩	岡戸 繁樹
	オブザーバー：八尾 隆一（蒲田警察署）、都甲 周二（田園調布消防署）、武藤 大介（蒲田消防署）		
	区職員：阿部 幸喜（防災危機管理課）、鎌田 裕一（上池台障害者福祉会館長）、吉田 実（障害福祉課）、斉藤 禄美（障がい者総合サポートセンター）		
	関係者：市川 邦彦（久が原福祉園 施設長）、土井 翼（障がい者総合サポートセンター 地域交流支援部門）		
	事務局：井村 陽介、岩下 祐輔（障害福祉課）		
1 確認・連絡事項			
(1) 書記の確認			
(2) 出欠者・配布資料の確認			
(3) 第2回本会の開催について			
(4) 第2回全体討議会の開催について			
・12/5（月）10:00～12:00に行う。自立支援協議会の在り方、推進プラン等について討議する。			
2 議題			
(1) 前期の振り返り			
・ヘルプマークの普及・啓発としてクリアファイルの検討・作成（8,000枚作成）			
・大森東地区（10/25）と六郷地区（11/2）の総合防災訓練に参加。ブースを設置し、ヘルプカードやヘルプマークの周知啓発を行った。			
・クリアファイルは今後どのように配付していくのか。			
→イベントなどを活用して配付していく。小中学校のどこかの学年に絞って全校配付することも検討している。			
→例えば学校の教員に配り、授業などで取り上げてもらうようにしてはどうか。配布で終わりにならないかたちにしたい。			
→配布効果を含め検討していく。また、さぼーとぴあスペシャル・デーにおいても配布する。			
・ニーズがあれば、追加で作成するという事も検討してみてもどうか。			
・自分たちでもって広めていくことも大切。思いがあるからこそできることもある。			
(2) 福祉避難所について			
・昨年度は、新井宿地区の総合防災訓練とあわせて、さぼーとぴあで福祉避難所開設訓練を実施した（12月13日）。			

- ・部会で作成した避難者カードを実際に使用し、訓練後、ヘルプカードの有無などの項目を新たに追加した。この様式については、各施設に情報提供をしている。
- ・今年度は、さぼーとぴあにおいて、1～2月に福祉避難所の訓練を行っていききたい。
- ・次の段階として、各町会の防災訓練で福祉避難所との連携が考えられるようにしていきたい。
- ・福祉避難所開設運営委員会みたいなものをつくってみてはどうか。
- ・さぼーとぴあが大森第三中学校の学校避難所運営協議会に参加してはどうか。
- ・今後は個別の支援計画を作成していかないといけない。

3 委員及び各関係機関からの情報提供

○志村委員

<防災に関する取組>

- ・ヘルプマーク・カードの周知
- ・総合防災訓練等への参加推奨
- ・防災講演会の企画・実施

<取り組んでみたいこと>

- ・福祉管理課、他部局と連携して「災害時要支援者対策を考える会」を立ち上げる。
- ・さぼーとぴあの訓練・学習会
- ・ツールを有効に使った現実的な取組の可能性を探ること

○石塚委員

<防災に関する取組>

- ・区内2か所の特別支援学校の防災教育推進委員会
- ・大田生活実習所において研修会『家庭でできる防災対策～食料備蓄とローリングストック～』でローリングストックについて説明する。

<取り組んでみたいこと>

- ・「分かりやすい福祉避難所パンフレット」の作成
- ・要配慮者、障害福祉課・防災課職員、地域住民、生活相談員、その他関係者が参加する実践型福祉避難所の設置・運営訓練を防災部会として企画

○11月2日に矢口特別支援学校で防災講演会を実施する。講師は高橋みかわ氏。